解　答	53. (C)	54. (B)	55. (C)	56. (B)	57. (C)

53. 「ハリーが宿題を期限内に終えることは絶対にないです。作文の提出期限は明日ですが、彼はまだ書き始めてさえいないのですから」

【誤】(C)for→【正】by

▶ 形容詞**due**は多義語で、本問の下線部(C)では「(支払い・提出・返却など)**期日が来て/期限になって**」という意味です。「**明日までに**」という**期限**を表す前置詞にはforではなくbyが適切ですので、for→byとすれば正しい表現になります。

多義語dueの様々な語法
①「(支払い・提出・返却など)**期日が来て/期限になって**」 My loan payments are ***due*** on the 25th of the month.〔『**特定**』の**on**〕 (私のローンの支払期日は毎月25日になっている)
②「(人・乗物が)**到着予定で**」 The train is ***due*** in ten minutes.(列車はあと10分で到着する予定だ)
③〔前置詞的に〕**due to ~「~のために/~が原因で」** ***Due to*** traffic jams, we will arrive a little later than expected. (交通渋滞のために、到着するのは予想よりも少し遅くなるでしょう)
④ **be due to *do*「~することになっている」** The trade center ***is due to*** open next month. (その貿易センターは来月開館することになっている)
⑤「(子供が)**生まれる予定で**」 Her first baby is ***due*** in June.(彼女の初めての子どもは6月に生まれる予定です)

[語句]

□**no way「絶対に~ない」**

There was ***no way*** she would succeed.(彼女が成功する可能性は全くなかった)

□**in time「間に合って/遅れずに」** cf. **on time**「時間通りに」

In spite of the traffic accident, she was ***in time*** for class.

(交通事故にもかかわらず、彼女は授業に間に合った)

54. 「水は生活に必要不可欠であり、私たちは水に依存しているが、多くの人は水があって当然だと思っています。世界人口が増加するにつれて、それとともに、水の需要も増加するのに伴って、水の供給が近い将来に枯渇するのではないかという心配が高まっている」

【誤】(B)keep→【正】take

▶ ...yet many people (B)<u>keep water</u> for granted.

(B)<u>keep water</u>に続くfor gratedという語句から、keep→takeとすれば、**take** water **for granted**(水があって当然だと考えている)という正しい表現になります。

[語句]

□**depend on[upon] A「Aに頼る/あてにする」**

She doesn't like to ***depend on[upon]*** any man for support.

(彼女は生活費をどんな男性にも頼りたくない)

□**take A for granted「Aを当然のことと思う」**

We ***take*** freedom of speech ***for granted***.

(私たちは言論の自由を当然のことと思っている)

□**run out「(食料・金・忍耐などが)尽きる」**

Our money is ***running out***.

(私たちの金は底をつきかけている)

55. A「金龍中華飯店にはまだ行ったことがないんです。行き方を教えてもらえませんか?」
B「ええっと、僕もないんだ。ジョンに聞いてみたら?よく奥さんと一緒に行ってるよ」

【誤】(C)too→【正】either

▶ Bの発言、Well, I haven't, (C)<u>too</u>.は**否定文**なので、「私**も**」という場合はtooではなく**either**を用います。

□**either**〔否定文の後で〕「**～もまた**(…でない)」

〔例〕Mary can't swim, and John can't, ***either***.

(メアリーは泳げないし、ジョンもまた泳げない)

［語句］

□**Why not *do*?**「**～したらどうですか？**」(=**Why don't you *do*?**)

Why not[Why don't you] go and see your doctor?

(医者に診てもらったらどうですか)

56.「日本では、バレンタインデーに女子が女友達とプレゼントを交換するのがますます人気になっています。以前は、女子は男子にだけプレゼントをあげたものですが、これは時代とともに変わってきています」

【誤】(B)in→【正】on

▶「バレンタインデー」は年に1度の「特定の日」ですから、inではなく**on**(『**特定のon**』)を用います。

［語句］

□**used to *do***「(今はしていないが)**以前はよく～したものだ**」〔**過去の習慣**〕

I ***used to go*** fishing every Sunday.

(日曜日にはいつも釣りに行ったものだ)

□**over time**「**時とともに/時が経てば**」

Everything changes ***over time***.

(時が経てばすべて変わる)

57.「ブラジルは2億人以上の人口を持ったラテンアメリカ最大の国で、その次はメキシコです。その首都はブラジリアで、国内では4番目に人口の多い都市です」

【誤】(C)after is→【正】followed by

▶「…(C)<u>after is</u> Mexico.」に関して、afterは**前置詞**(または**接続詞/副詞**)なので、直後にisがくる形は誤りです。「(ブラジルの)**次が**メキシコです」という内容を表すには、Brazil is followed by Mexico.を分詞構文にして<u>**followed by**</u> Mexicoとします。

▶ 下線部(D)<u>which</u>の先行詞は地名であるBrasiliaですが、whichのあとにはisが続き、**主語**として扱われているので**主格**の関係代名詞whichのままで正解です。先行詞が地名だからといって機械的に場所を表す関係副詞whereにしないよう注意しましょう。

［語句］

□**more than ～**「(数詞の前で)**～より多い**」

The book weighs ***more than*** two kilos.

(その本は2キロより重い)